

No12 胸腔鏡下手術(部分、生検)を受ける患者様へ

病棟 号室 患者氏名: 主治医: 担当医: 担当看護師: ご署名()

病名: 特別な栄養管理の必要性 有 無

経過	手術前日	手術当日術前	手術当日術後	術後1日目	術後2日目	術後3日目～退院まで
月日						
治療や処置	IDバンドをつけます。 ひげのある方はひげを剃ってください。	内服薬()のみ朝内服してください。 手術30分前になったら弾性ストッキングをはいてください。 動かないことで「深部静脈血栓症」や「肺塞栓症」(一般的にはエコノミー症候群と言います)という合併症を引き起こす可能性があります。 ①弾性ストッキングの装着、血栓予防の機械を足につけます。 ②足が動くようになったら、積極的に両足首や膝の曲げ伸ばしをしましょう。	酸素マスク、心電図モニターがつきます。 持続点滴を行います。 手術室より痛み止めの管が入ってきます。 胸の管が入ってきます。(手術前に入っていない場合) 痛みが強い時や発熱時は坐薬や注射を使います。 見回りに行きますので何かあったら看護師にお申しして下さい。 術後1回痰を出しやすくするために吸入を行います。痰は積極的に出しましょう。	医師の指示により、酸素吸入の量が減りません。心電図モニターが外れます。 1日2回抗生剤の点滴を行います。 内服薬(鎮痛剤・去痰剤など)が処方されます。医師の指示により持参薬を再開します。 1日3回痰を出しやすくするために吸入を行います。	胸の管が抜ける予定です。 1日2回抗生剤の点滴を行います。1日3回痰を出しやすくするために吸入を行います。	抜糸は外来で行います。
検査や測定	身長、体重測定をします。 		手術直後は15分～30分毎、その後は2時間おきに検温します。	採血を行います。 レントゲンをベット上で撮ります。 検温は1日4回行います。	胸のレントゲン写真を1階にとりに行きます。 採血を行います。 手術後2日目以降は検温は1日2回行います。	適宜レントゲン、採血があります。 
入院生活	食事	夕食までは通常通り食事が出ます。夜9時以降、食事はできません。経口補水液(OS-1)を飲み始めます。(パンフレット参照)	午前手術の場合は午前6時30分以降、午後手術の場合は午前10時以降飲水できません。	飲食はできません。うがいはできます。	レントゲン確認後、医師の指示により水が飲めます。昼より食事が始まります。	
	清潔	シャワーを浴びて下さい。 胸、脇下にマジックでマーキングをします。		汗などをかいていればその都度体を拭きます。	体を拭きます。 	胸の管を抜いた後はその部分に防水テープを貼り全身シャワー可能です。
	排泄		予め排尿排便を済ませておいて下さい。	手術中より尿の管が入ってきます。	尿の管を抜きます。 その後はトイレを使用して下さい。	
活動、外出など	病院内自由です。		ベット上安静です。寝返りはできます。	病棟内自由です。	病院内自由です。	患者さんの健康状態によって退院日を決定します。
患者さんご家族の皆様への説明指導等	手術前日までに主治医から手術の説明があります。 以下の準備をお願いします ・前開きの寝衣1枚 ・T字帯1枚	身に付けているもの(ピアス、かつら、時計、入れ歯、指輪など)ははずして下さい。歩いて手術室へ行きます。 	主治医から手術結果の説明があります。	術後初めて歩くときは看護師が付き添います。回復のため積極的に歩きましょう。痰は積極的に出しましょう。		主治医から退院の説明があります。 看護師からも退院の手続きの仕方や退院後の生活について説明があります。 患者様の状態によって退院日を決めます。
その他	手術前日までに手術同意書を書いて看護師に提出して下さい。					診断書など必要な方はお早目にお知らせ下さい。